

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成29年度)

## 2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ⑤農林水産業分野(8/8)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを 1:1:2の割合 で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組 の進捗	支援措置の活用と 地域独自の取組の 状況	取組全体に わたる事業の 進捗と政策課 題の解決	
競争力と持続力を持つ交流6次化モデルの構築特区 (南アルプス市)	2.6	3.3  進捗度 ・耕作放棄面積 93%  ・農業従事者数 98%  ・農業生産出荷 額 98%  ・市人口社会増 減数 100%  ・観光入込客数 91%  ・地域資源を活 用する民間企 業の誘致数 0% 等	3.2  地域独自の 取組 ・雇用創出奨 励金事業  ・南アルプスブ ランド戦略事 業  ・青年就農給 付金事業  ・中高年の新 規就農者支 援事業  ・若者世帯新 築支援事業  等	2.0	<p>・市人口社会増減人数については、平成29年度は、既に社会増を実現している。これが「田園回帰」などを反映した動きなのかどうか、さらなる分析を行い今後の戦略に生かすことが必要であろう。</p> <p>・特区としての、地域独自の取組は概ね活発であると評価できる。一方、規制の特例、財政・金融・税制上の措置いずれも利用されておらず、総合特区に指定されているメリットは無いのではないか。</p> <p>・全体として計画から何を実現したいのかが見えてこない。「地域資源を活用する民間企業の誘致」とあるが、ここでいう「地域資源」とは何か。これが耕作放棄地面積や農業従事者数、農業生産出荷額や農業所得とどのような関連を有するのかが分からない。</p> <p>・特区の目標と政策が一致しておらず、戦略として破綻していると言わざるを得ない。こうした農業関連の指標を取り下げて、本特区が目指すべき姿に合った評価指標に改めてはどうか。</p> <p>・合計量ではなく、動きを反映した数字にした方がよいのではないか。また、進捗度の算出方法がおかしい箇所があり、算出方法を根本的に考えなおす必要がある。</p>